





# 紫第七〇〇一工場 反応工程班



## 【人物相関図】

生糸、絹糸、火薬は除外  
民需品應急生産

勝利は兄等の  
鉄腕に！  
征け學徒

戦争はもうすぐ終わります。貴方たちは一部の軍人や政治家にだまされているのです。アメリカ軍は九月になっ  
「日本の本土に上陸  
しませぬ」  
向はない限り、危害を加へることはありません、無駄な戦争はいま  
すぐ止めませう。

### 工場員

**係長 (牟田)**  
高橋ひろし  
「そろそろ、戦争も目鼻がついて来たということじゃろうな」

**職長 (猿渡)**  
平尾 仁  
「職工は会社のお蔭で食うていきよるとじゃけん。」

**責任工 (荒尾)**  
有福正志  
「負け戦は、初手から分っとろうが」

**徴用工 (柳川)**  
若杉宏二  
「言い分もあるうばってん、結局は身の為じゃけん」

**見習工 (矢部)**  
八頭司悠友  
「戦争中は、バカのヘッタクレの言いよって、へ、戦争に負けたら、皆々様ちゅうわい」

### 娘

**課員 (太宰)**  
内藤栄一  
「どうせ一生なら、人間、自分が信じつづけて来たものをこの眼で確かめたい」

**見張 (正枝、荒尾の娘)**  
天野はな  
「父ちゃんから、田宮さんとつき合うたらいかんて言われとるとよ」

### 動員学徒

**監督教官・助教授 (清原)**  
神農直隆  
「時局柄不穩当、と看做される本が一、二冊出て来たと言うわけだ」

**学徒・班長 (田宮)**  
久保田響介  
「学生が本を読むのがどうしていけないんです」

**学徒 (林)**  
清水 優  
「手紙のこと、誰にも言わんどいてほしいんやがな」

**学徒 (影山)**  
奈良原大泰  
「…おふくる…元気でいたってか？」

**学徒・中学生 (木戸)**  
河原翔太  
「この工程で造っているのは、ロケット砲の発射薬だって本当ですか？」

### 召集

### 妹

**学徒・女学生 (節子、田宮の妹)**  
田尻咲良  
「影山さん、とうとう帰って来なさらんもんじゃけん」

**憲兵**  
神保良介  
「徴兵忌避者として、憲兵隊に連行する」

日本国民の皆、戦争はもうす  
ます。貴方た  
の軍人や政治  
されては九  
メリカ軍は九  
たから日本の本  
しますが、皆  
向はない限り  
加へることはあ  
無駄な戦争は